



2020年12月期第3四半期
(2020年1月1日～2020年9月30日)

決算説明資料

2020年11月4日



Contents

1. 第3四半期決算概要 02
2. 業績見通し 11
3. トピックス 16

Appendix 会社概要、売上区分

※本資料における財務数値は国際会計基準(IFRS)を適用した連結会計の数値です。表示単位未満を四捨五入しています。

Contents

1. 第3四半期決算概要

2. 業績見通し

3. トピックス

Appendix 会社概要、売上区分

第3四半期累計期間での業績進捗は順調、Webセミナーなどによる顧客企業のDXを推進中

業績

前年同期比で減収減益となったが、通期予想に対する進捗は順調

売上収益	15,544百万円（前年同期比 -7.7%）	うち月額5,331百万円（同 +6.9%）
プラットフォーム	7,440百万円（同 -1.8%）	
アプリケーション	8,104百万円（同 -12.5%）	
営業利益	2,864百万円（同 -19.5%）	

活動

Webセミナーなどを通して、顧客企業のDX（オンライン化）の浸透策を推進
オンラインと対面を併用した営業活動を実施、商談期間長期化の状況は継続

費用・投資

広告宣伝費や営業経費を中心に支出を抑制
クラウド業務ソフトウェアの開発は概ね計画通り進捗、サービスの継続性を担保するための投資を強化

信用リスク

与信管理を徹底しており、信用リスク顕在化による影響は極めて軽微

新型コロナウイルスの影響が残り、第3四半期（7-9月）においても商談長期化の傾向が継続

(百万円)	FY2020 3Q累計	FY2019 3Q累計	増減額	増減率
売上収益	15,544	16,840	-1,297	-7.7%
プラットフォーム	7,440	7,579	-139	-1.8%
アプリケーション	8,104	9,261	-1,157	-12.5%
営業利益	2,864	3,558	-693	-19.5%
税引前四半期利益	2,815	3,523	-709	-20.1%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	1,867	2,320	-453	-19.5%
基本的 1 株当たり四半期利益	21.33円	26.55円	-	-

月額売上全体では増収継続、基本の一括はソフトウェア販売数に連動するため減収

(百万円)		FY2020 3Q累計	FY2019 3Q累計	増減額	増減率
基本		5,497	5,684	-187	-3.3%
PaaS/SaaS		3,823	4,116	-293	-7.1%
	一括	1,584	2,012	-428	-21.3%
	月額	2,239	2,104	+135	+6.4%
IaaS	月額	1,674	1,568	+106	+6.8%
EDI・決済		665	689	-23	-3.4%
PSF *	月額	407	454	-47	-10.3%
BLP/CPT *	月額	258	235	+23	+9.9%
サポート		1,163	1,099	+65	+5.9%
保守	月額	639	517	+121	+23.5%
サプライ品	一括	525	582	-57	-9.8%
その他	-	113	107	+6	+5.8%
合計		7,440	7,579	-139	-1.8%

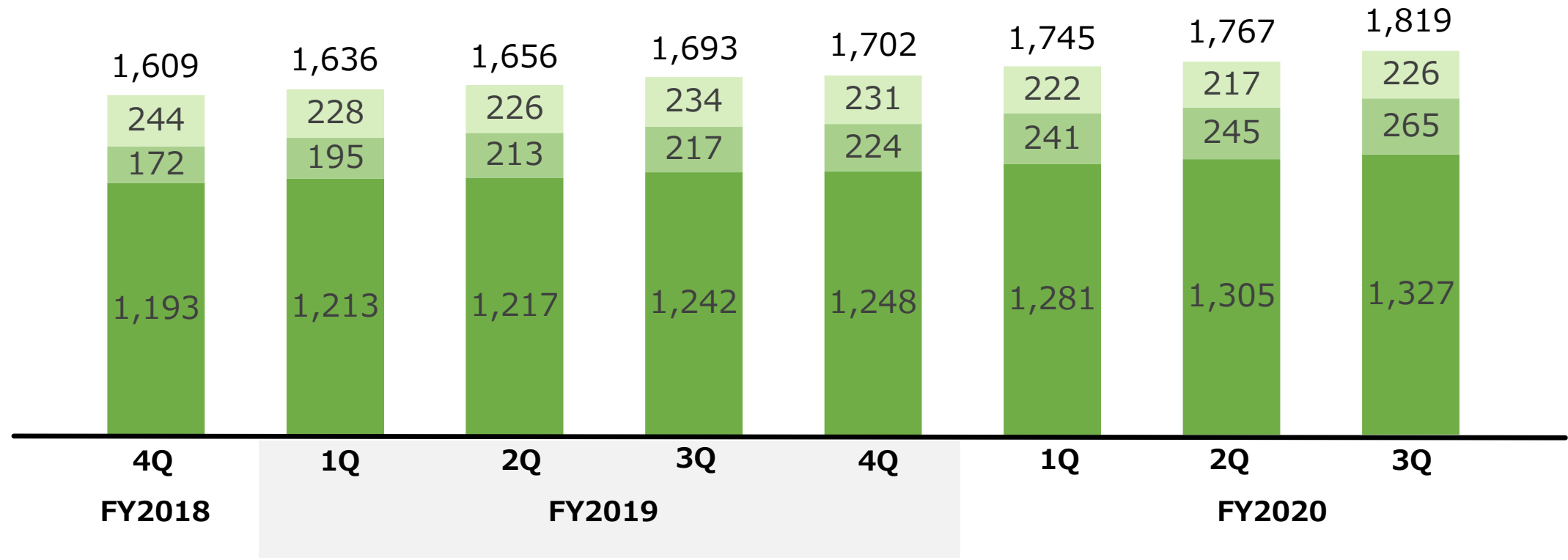
* PSF : 自動車リサイクル部品取引ネットワーク「パーツステーションNET」での決済代行手数料 BLP : 「BLパーツオーダーシステム」の利用料 CPT : 「CarpodTab」の利用料

月額売上（3カ月）の推移

ソフトウェア利用顧客の増加、保守契約率の上昇に加えて、DX関連サービス案件も増加傾向

(百万円)

■ : 基本 (月額) [定額]* ■ : 保守その他 [定額] ■ : EDI・決済 [定額/従量]

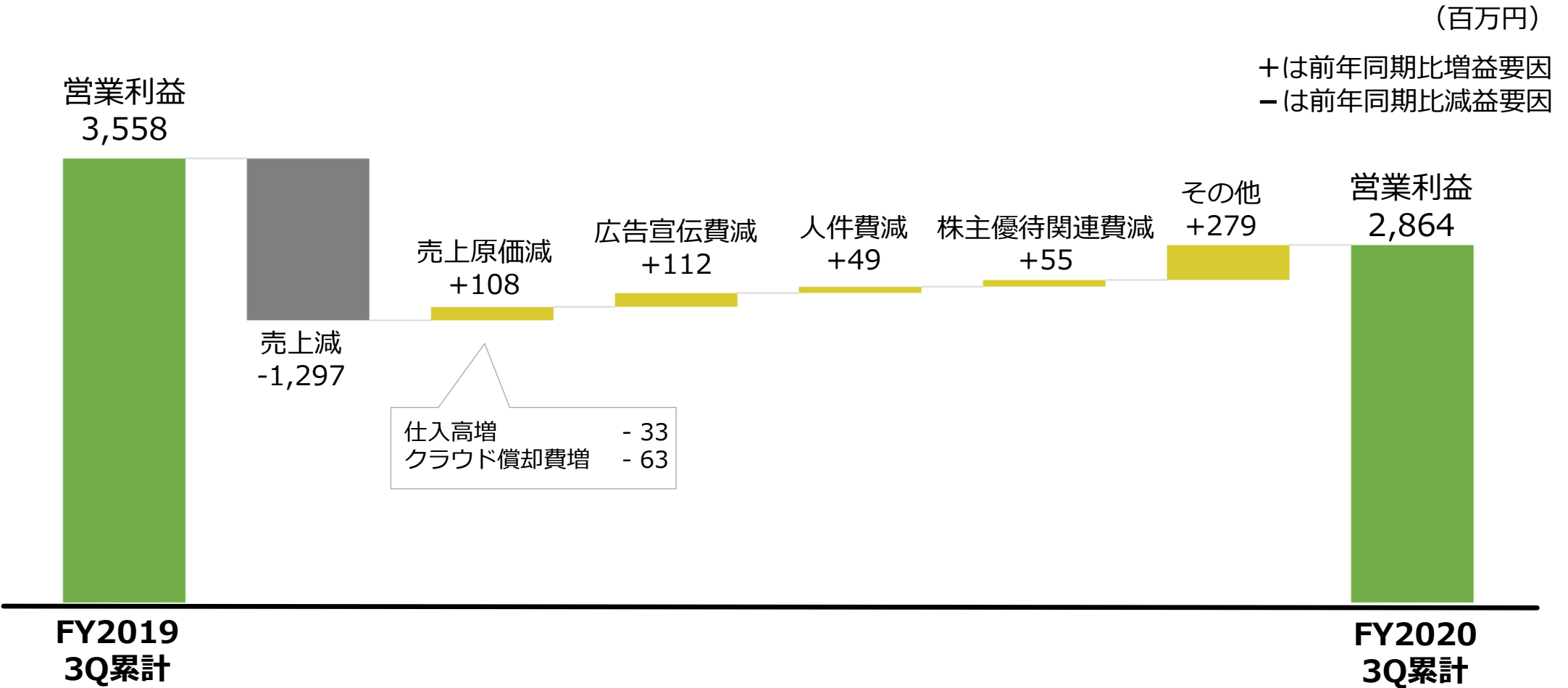


*プラットフォーム基本の PaaS/SaaS (月額) とIaaSの合計

商談長期化が継続したことにより、業種別やOTRSは減収
機器販売の大口案件を取り込んだことなどから、その他は増収

(百万円)	FY2020 3Q累計	FY2019 3Q累計	増減額	増減率
業種別	6,489	7,788	-1,299	-16.7%
自動車系	5,548	6,598	-1,050	-15.9%
非自動車系	941	1,189	-249	-20.9%
OTRS	173	282	-109	-38.6%
その他	1,442	1,192	+250	+21.0%
アプリケーション合計	8,104	9,261	-1,157	-12.5%

売上原価の減少が限定的であり、販管費圧縮を進めたものの、減収分をカバーできず減益



クラウド開発投資による無形資産の増加や、短期有利子負債の増加のほかは大きな増減なし

(百万円)	FY2020 3Q累計	FY2019 期末	増減額	主な増減要因
流動資産	7,989	7,987	+2	現金及び現金同等物 -265 営業債権及びその他の債権 +341
非流動資産	24,335	23,702	+634	無形資産 +1,034
資産合計	32,324	31,689	+635	
流動負債	7,072	7,100	-28	営業債務及びその他の債務 -355 短期有利子負債 +1,357
非流動負債	1,229	1,369	-140	長期有利子負債 -135
負債合計	8,301	8,469	-168	
資本合計	24,023	23,220	+803	四半期利益の計上 +1,867 配当支払 -1,146
負債及び資本合計	32,324	31,689	+635	

投資コントロールによるFCF増加に加え、短期借入の実施により現預金残高が増加

(百万円)	FY2020 3Q累計	FY2019 3Q累計	増減額	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,114	1,376	+739	営業債権及びその他の債権の減少 +62 営業債務及びその他の債務の減少 -86 法人所得税等の支払額の減少 +507
投資活動によるキャッシュ・フロー	-1,938	-2,961	+1,023	無形資産の取得による支出の減少 +421 投資の取得による支出の減少 +985
財務活動によるキャッシュ・フロー	-441	-2,112	+1,672	短期借入金増加 +1,400
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	176	-1,586	+1,762	
現金及び現金同等物の期末残高	2,769	1,928	+841	

Contents

1. 第3四半期決算概要

2. 業績見通し

3. トピックス

Appendix 会社概要、売上区分

8月7日に公表した業績予想から変更なし

(百万円)	FY2020 通期予想	FY2019 通期実績	増減額	増減率	FY2020 4Q必要額*	FY2019 4Q実績	増減額	増減率
売上収益	21,300	22,586	-1,286	-5.7%	5,756	5,746	+11	+0.2%
営業利益	3,900	4,525	-625	-13.8%	1,036	967	+68	+7.1%
税引前利益	3,900	4,486	-586	-13.1%	1,085	962	+123	+12.8%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,700	3,093	-393	-12.7%	833	774	+60	+7.7%
基本的 1 株当たり当期利益	30.87円	35.40円	-	-	-	-	-	-

* 通期予想-3Q累計額で算出

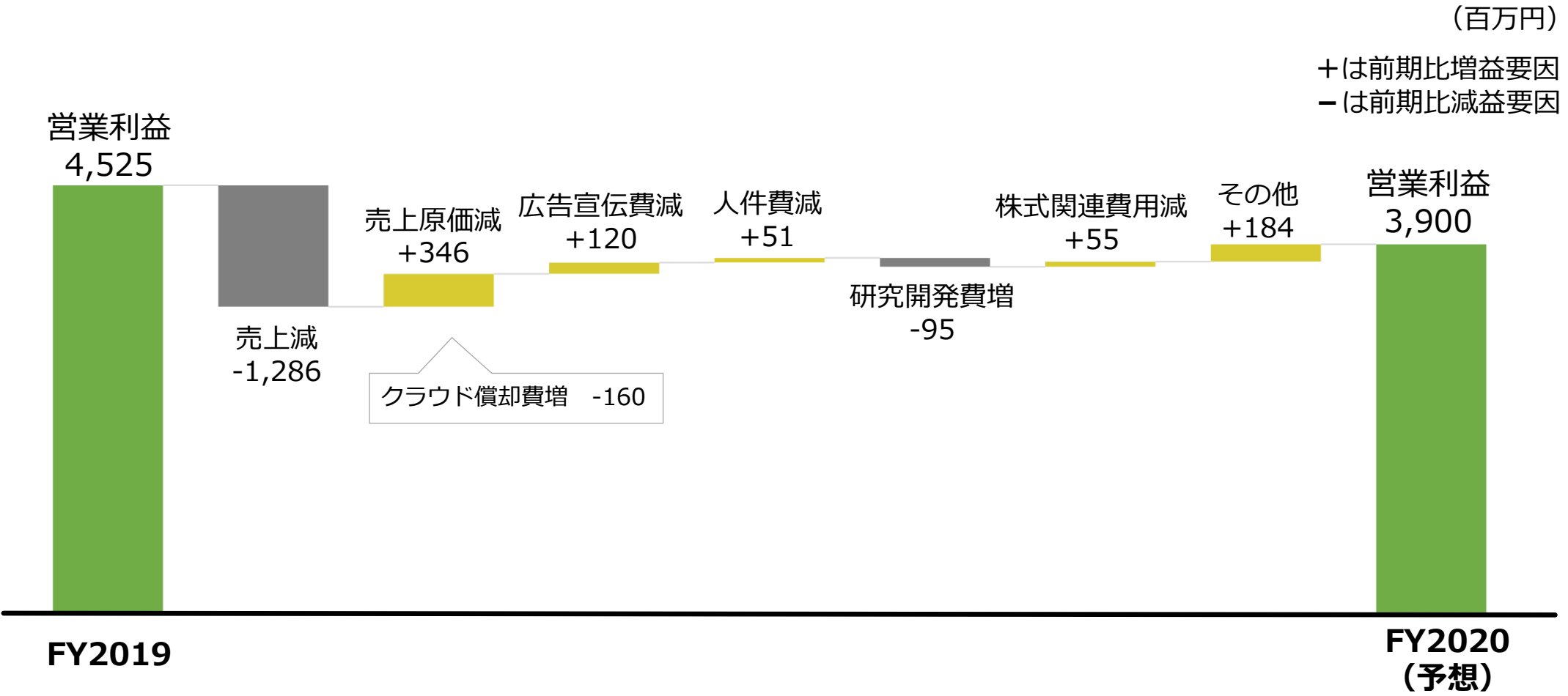
8月7日に公表した業績予想から変更なし

(百万円)	FY2020 通期予想	FY2019 通期実績	増減額	増減率	FY2020 4Q必要額*	FY2019 4Q実績	増減額	増減率
プラットフォーム	10,100	10,192	-92	-0.9%	2,660	2,613	+47	+1.8%
基本	7,600	7,654	-54	-0.7%	2,103	1,970	+132	+6.7%
EDI・決済	850	920	-70	-7.6%	185	231	-46	-20.1%
サポート	1,500	1,478	+22	+1.5%	337	379	-42	-11.1%
その他	150	140	+10	+6.9%	37	33	+4	+10.6%
アプリケーション	11,200	12,394	-1,194	-9.6%	3,096	3,132	-36	-1.2%
業種別	9,200	10,448	-1,248	-11.9%	2,711	2,660	+51	+1.9%
OTRS	200	338	-138	-40.8%	27	56	-29	-51.7%
その他	1,800	1,608	+192	+12.0%	358	416	-58	-13.9%
合計	21,300	22,586	-1,286	-5.7%	5,756	5,746	+11	+0.2%

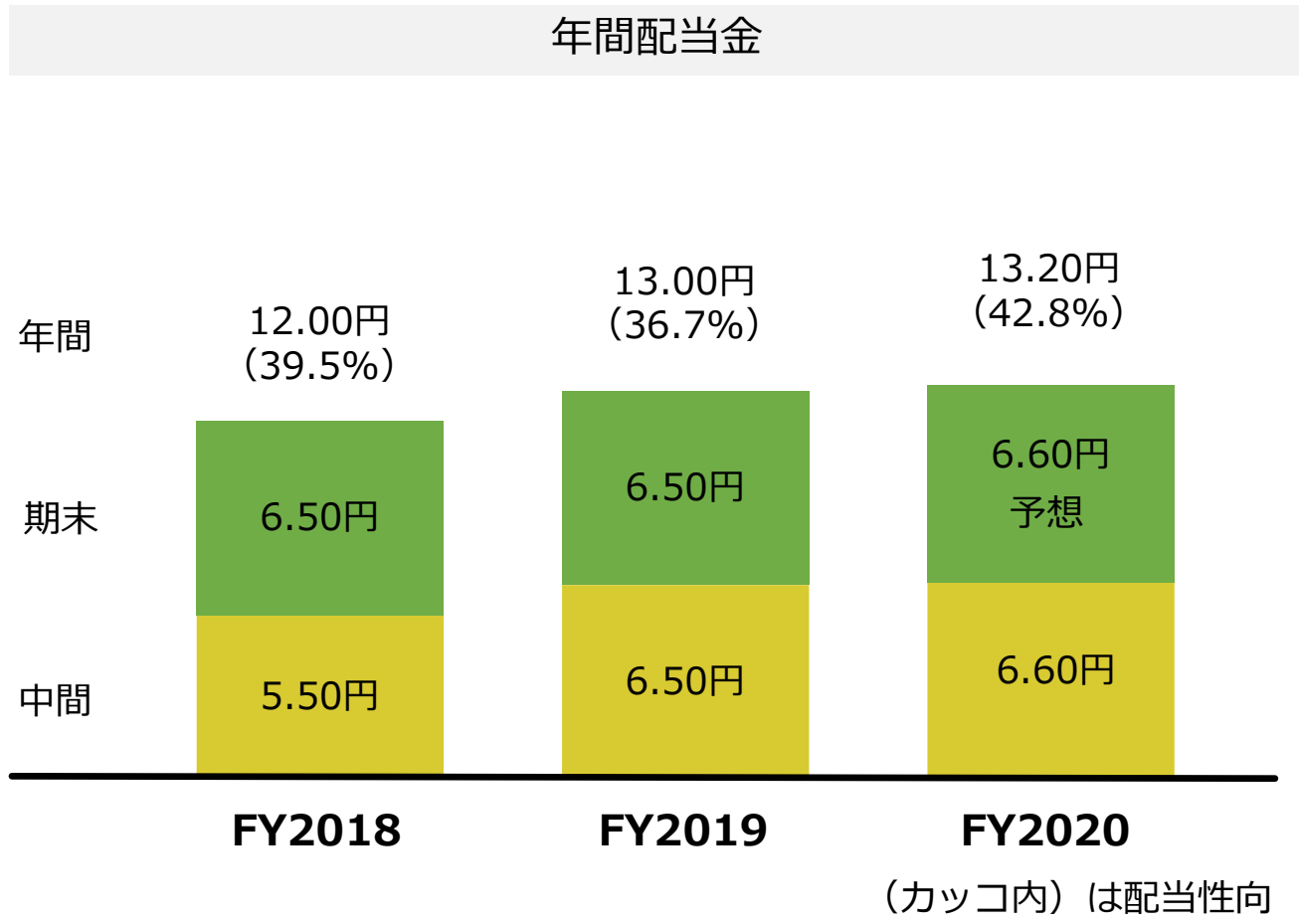
* 通期予想-3Q累計額で算出

営業利益の増減内訳（通期）

営業経費や一般経費の圧縮を推進する一方、クラウド償却費や研究開発費が増加するため、減収分のカバーは困難な見込み



期末配当金は6.60円、年間で13.20円（前期比0.20円増配）を予想



配当政策

過去の配当実績を鑑みて、配当性向の目処を引上げる方向で検討中

参考) 現在の配当政策 :

安定配当を基本方針とし
配当性向は概ね20%を目処とする

Contents

1. 第3四半期決算概要

2. 業績見通し

3. トピックス

Appendix 会社概要、売上区分

ブロックチェーン技術を活用した中古車売買マーケットプレイスを運営するShelf APに3rdParty向けビジネス・プラットフォーム『Broadleaf Cloud Platform』の提供を開始（11月4日）

当社が開発・提供するビジネス・デジタル・プラットフォーム『Broadleaf Cloud Platform』と、株式会社Shelf APが運営するブロックチェーン技術を活用した中古車売買マーケットプレイス『Shelf AP.jp』は、2020年11月4日にシステム構築とデータ連携を完了し、サービス提供を開始いたしました。

『Shelf AP.jp』

グローバル市場で成長を続ける中古車市場において、ブロックチェーンの特長である分散型のデータ構造・管理手法を組み込むことにより、インターネット上で取引されるデータの信ぴょう性、安全性を高め、かつ国境を越える取引をリアルタイムに実現

『Broadleaf Cloud Platform』

大量データの収集・高速検索・分析、業務APIサービスの組み合わせによる短期間でのサービス実装、利用規模に合わせた高いスケーラビリティが特徴

株式会社Shelf AP

ブロックチェーンならびにAI等の先進技術を利用したソフトウェア、アプリケーション、プラットフォーム等の企画、設計、開発、運営、管理

本社所在地：東京都東京都港区港南2-16-4 品川グランドセントラルタワー8階

代表取締役：安西 出

URL：<https://shelfap.com/>

Shelf AP

2019年4月に設立されたShelf.Network社のアジア拠点

Shelf.Networkのグローバルパートナーの一員としてシステムのライセンス提供を受け、アジア・オセアニア地域でビジネスを展開

Shelf.Network

ウクライナを拠点に2017年創業、米国ニューヨーク州が本社登記先

ブロックチェーン技術を活用した中古車流通のプラットフォームを展開、北米・欧州の中古車販売業者やオークション事業者・物流企業が利用

受賞歴

Best European Blockchain startup、GrandFrontier Innovation Award (2018)、Winner of Blockshow Europe (2018)、Best real world application of Blockchain technology (2018)、Top automotive re-marketing solution (2019) など数多くの賞を受賞

CEO Lasha Antadze

Shelf.Networkの創業者、世界最高峰のシードアクセラレーターであるY-combinatorのプログラムを修了

2015年ウクライナ政府の依頼により、ブロックチェーンによる分散型オークション技術を用いた、州の資産を民営化するためのプラットフォームを開発

Pavel Kravchenko

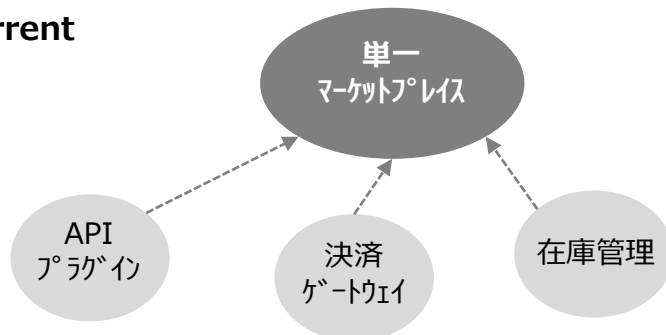
Shelf.Networkの共同創業者、Kharkiv National University of Radioelectronics PhD

産・管・学のコラボレーションにより暗号通貨とブロックチェーンテクノロジーを研究開発するベンチャー、Distributed Labを共同設立

<特長>

分散型電子オークションシステムにより各オークションシステムが連携され、マーケットプレイス間での中古車在庫情報の共有が可能となる
その結果、クロスボーダーでの中古車の流通が促進される

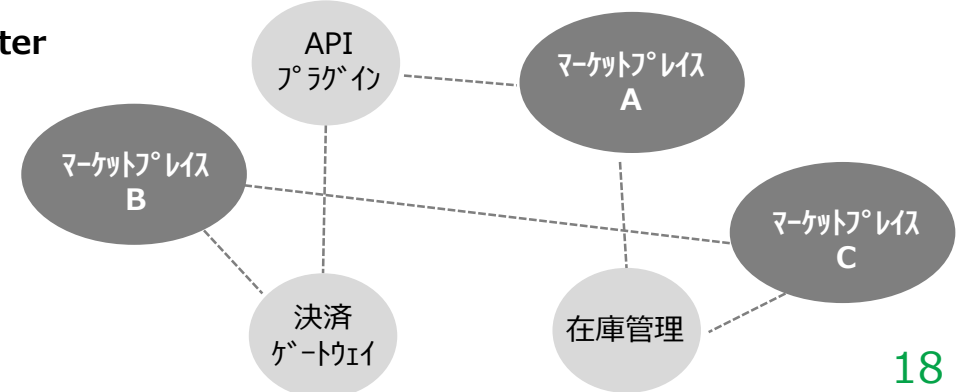
Current



Shelf.Networkの
ブロックチェーン技術



After





コンシューマ

モビリティサービスの利用者／カーオーナー



ユーザー企業
(サービサー)


中古車売買業者
(カーセブン等)



交通機関


配送/輸送
業者


旅行/娯楽
業者


シェアリング
業者


メンテナンス
業者


小売/卸売
業者

アプリケーション

Shelf AP **Zenmov inc.** **X社** **Y社** **Z社** ...

     ...







中古車売買
マーケットプレイス 運行管理
プラットフォーム **3rdパーティ**




 .cシリーズ

 EC/EDI

**Broadleafの
アプリケーション**

インフラ
~
ミドルウェア

 ブロックチェーン  トレーサビリティ  AIセーフティ  決済  AIデータ解析  インタ
フェース

 ネットワーク  開発基盤  稼働基盤

Broadleaf Cloud Platform サービス群

株主優待の内容決定（11月4日）

2020年12月期末の株主優待は、以下のとおり決定いたしました。

保有株式数	当社オリジナル Visa ギフトカード
500株～999株	5,000 円分
1,000株～1,999株	10,000 円分
2,000株以上	20,000 円分

優待品目としてVisaギフトカードを継続する理由

以前、株主優待として採用しておりましたQUOカードと比較して、ご利用いただける業種・業態が多いこと、さらには新型コロナウイルスの影響により利用頻度の高まっているインターネットショッピングでもご利用いただける観点から、引き続きVisaギフトカードを引き続き株主優待品目として採用いたします。

対象となる株主

2020年12月末日現在の株主名簿に記録された当社株式5単位(500株)以上所有の方。

株式会社ゼネテックと相互代理店契約（10月6日）

ブロードリーフとゼネテックで、OTRSとFlexSimの相互代理店契約を締結いたしました。

OTRSによる改善活動が生む効果を、ゼネテック製品のFlexSimでシミュレーションし、今後どのような目標で改善していくべきかを示すことができます。

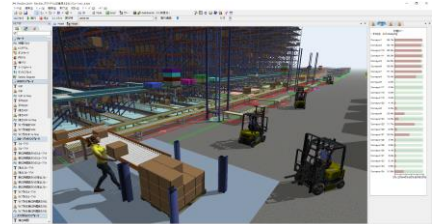
作業分析ソフトウェア OTRS

IE（Industrial Engineering）手法に準拠し、人・モノ・機械の動きを正確に動画分析・時間分析するツールとして多くの生産現場で採用



3D IoTシミュレーションソフト FlexSim

3Dグラフィックを利用して構築し、モノ・ヒトの流れを計算。世界77か国以上の販売チャンネルを通じ、欧米や中国をはじめとした世界中で導入。（累計5万1,500ライセンス数以上）



BEMAC PhilippinesとMOU締結（7月20日）

当社とグループ子会社のBLITS、BEMAC Philippinesは、フィリピンにおけるモビリティ関連のアフターサービス事業に関する総合プラットフォームの確立に向けたMOU(覚書)を締結いたしました。

EV車の生産、投入から点検・整備、補修部品流通までをワンストップで提供するインフラを構築を目指しています。

BEMAC Electric Transportation Philippines Inc.

大型船舶の電気機器全般の設計・製造・工事・メンテナンスを一貫して手掛ける舶用機器メーカーBEMAC株式会社がフィリピンにて展開する子会社。フィリピン国内における主要な移動手段である三輪車両（トライシクル）の電動車両 E-Trikeを開発・販売しており、2019年9月までにフィリピン政府に3,000台の納入実績がある。

URL : <http://www.bemac-philippines.com/>

BL.Homepage プレミアムを販売開始（3月2日）

ホームページ構築・運営ソリューションBL.Homepage プレミアムをリリースしました。

集客支援と売上拡大のための必須ツールであるホームページ開設を容易に行うことが可能となるソリューションです。



<価格>

初期費用	100,000円（税別）
月額料金	19,800円（税別）

Contents

1. 第3四半期決算概要

2. 業績見通し

3. トピックス

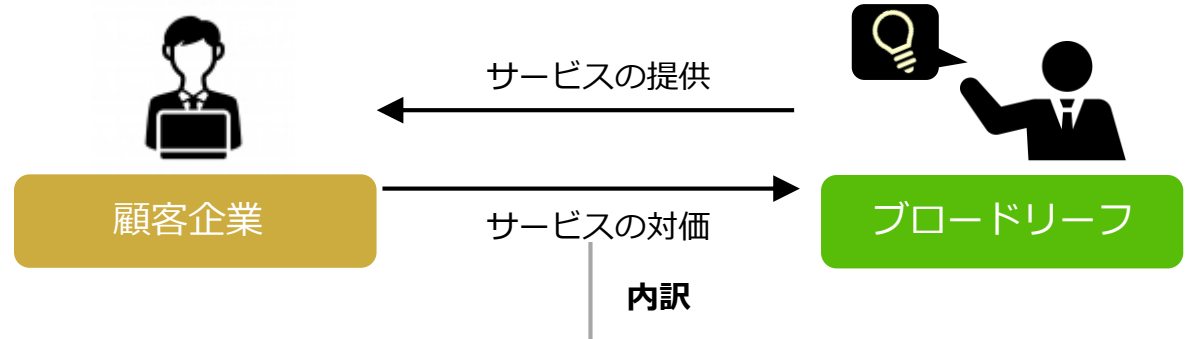
Appendix 会社概要、売上区分

会社概要

会社名	株式会社ブロードリーフ
代表者	代表取締役社長 大山 堅司
上場市場	東京証券取引所市場第一部 (3673)
業種	情報・通信業
創業/設立	2005年12月/2009年9月
資本金	7,148百万円 (連結)
事業年度	1月1日から12月31日まで
事業内容	自社開発の業務ソフトウェアをはじめ各種 I Tサービスを幅広く展開。 カーアフター産業に属する事業者向けを中心に、基幹システムとなる業務ソフトウェアを提供するほか、自動車部品の電子売買ネットワークやビッグデータ分析など、多様な独自サービスをワンストップで提供。 また、今後のモビリティ社会の進化を見据え、先端技術の実用化に関する調査研究を推進中。
本社所在地	東京都品川区東品川4-13-14 グラスキューブ品川8F
国内拠点	全国 営業29拠点 開発3拠点
主な子会社	株式会社タジマ

売上区分について① サービスの種類

顧客企業に対して、業務ソフトウェアを含む複数のサービスをワンセットで提供



	必須	必須	必須	必須	任意 +2	任意	任意	任意	任意
サービス名称	業務ソフト	業務ソフト (基本機能)	データベース	サーバ機能	カスタマーサポート	インクナー帳票類	自動車リサイクル部品EC	自動車部品EDI	PC等機器類
対価属性	利用権 購入代金 *1	利用権 購入代金 *1	利用料	利用料	利用料	商品 購入代金	利用料	利用料	商品 購入代金
売上認識	一括	一括	月額	月額	月額	一括	月額	月額	一括

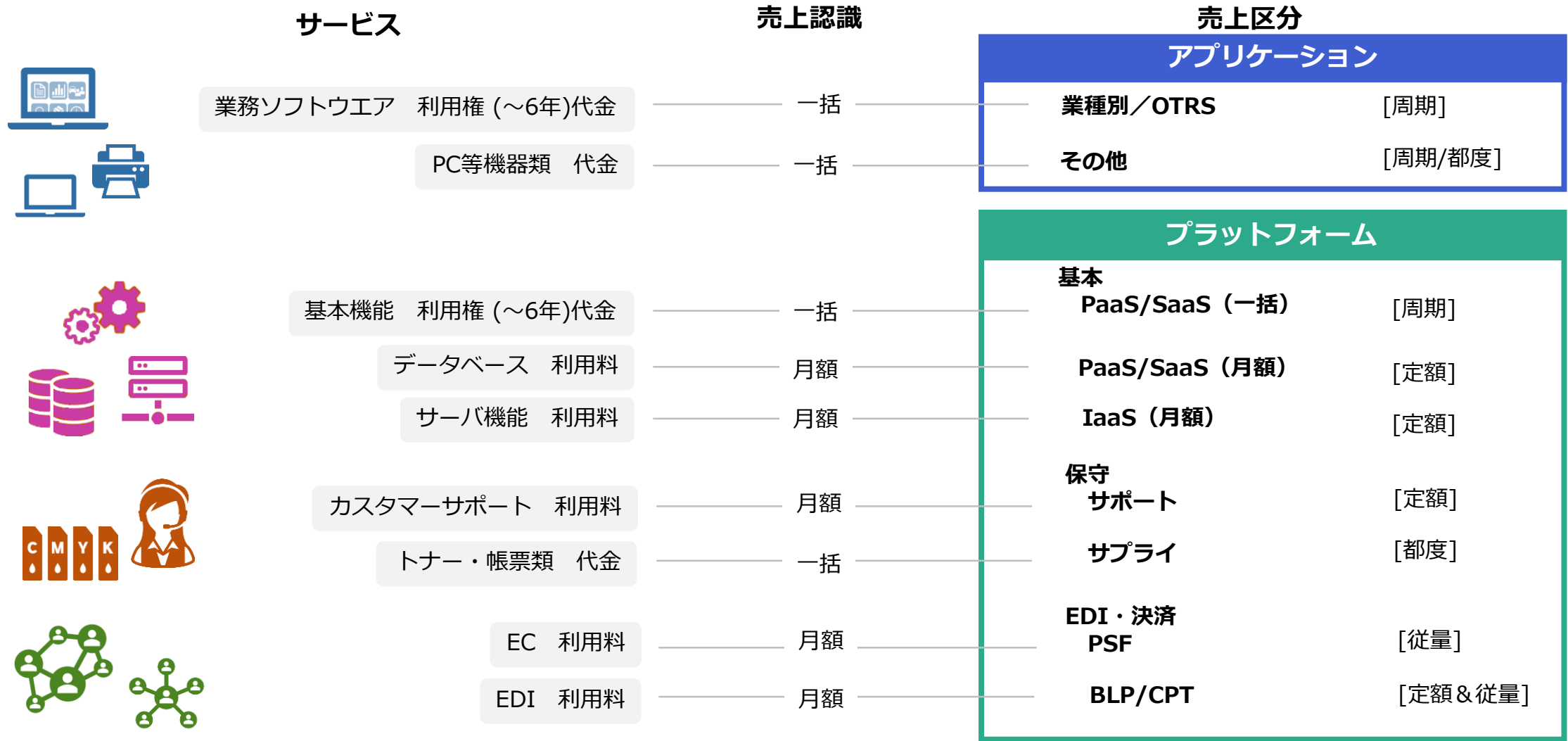
*1 利用権は最長6年

*2 2019年後半から契約率向上策を強化

注) 顧客企業の業種によって提供サービス範囲が異なります。

売上区分について② 売上区分との対応

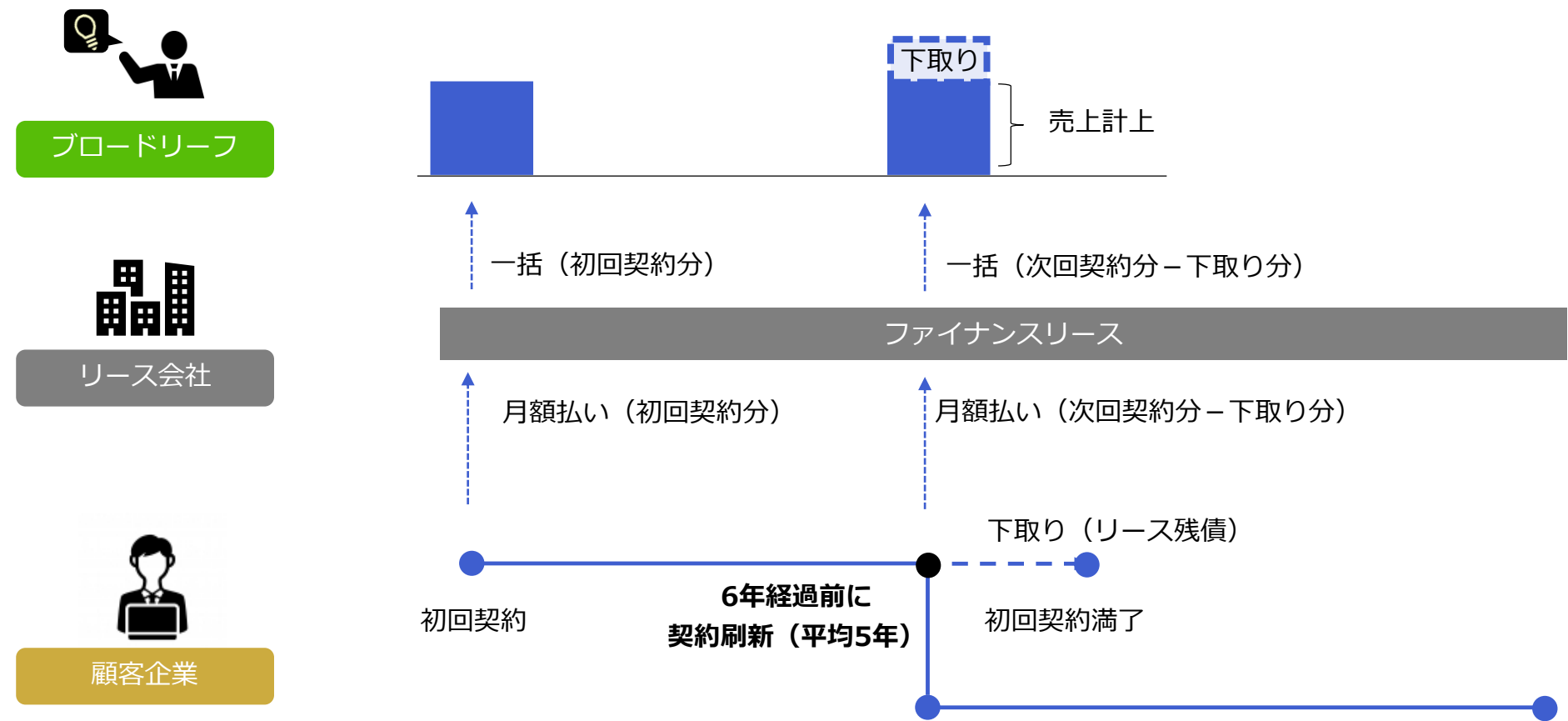
サービス種類ごとに売上認識が異なるため、サービス種類と売上区分を対応



売上区分について③ 契約更新時期

大半の顧客企業はリース契約を選択、
ソフトウェアの利用権購入期間（＝リース期間）満了前に、当社がリース残債を下取りする場合もある

6年契約の場合



免責事項

本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

お問い合わせ先

株式会社ブロードリーフ

インベスターリレーションズ室

E-Mail : bl-ir@broadleaf.co.jp